久留米工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	専攻科特論専門II

科目基礎情報

科目番号	7S08	科目区分	専門 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	機械・電気システム工学専攻（制御情報工学コース）	対象学年	専2
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	放送大学，単位互換協定校，他高専の専攻科等が定める教材		
担当教員	川上 雄士		

到達目標

放送大学,単位互換協定校，他高専の専攻科等の開設科目の到達目標による。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる	工学的な課題を論理的・合理的な方法で説明できる	工学的な課題を論理的・合理的には説明できない
評価項目2	工学的な課題を技術者倫理観を持って明確化できる	工学的な課題を技術者倫理観を持って説明できる	工学的な課題を技術者倫理観を持って説明できない
評価項目3	工学的な課題を専門知識を使って明確化できる	工学的な課題を専門知識を使って説明できる	工学的な課題を専門知識を使って説明できない

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	本校で開設できない科目を放送大学，他大学，他高専の専攻科等で補い，一般知識を広める。
授業の進め方・方法	放送大学，単位互換協定締結校(短大を除く），他高専の専攻科で一般科目に関する科目を受講し，単位を取得した場合，専攻科特論一般Ｉとして認定する。そのため，特別学修願い及び特別学修単位認定願いを提出する必要がある。 本科目は学修単位科目であるので、授業時間以外での学修が必要であり、これを課題として課す。
注意点	放送大学，単位互換協定校，他高専の専攻科等での評価方法による。 放送大学の場合，再試験が1回行なわれる。 令和4年度は新型コロナ感染症防止により科目によっては開講しない場合があります。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	☑ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	放送大学，単位互換協定締結校，他高専の専攻科等の授業内容に従う。	工学的な課題を論理的・合理的な方法かつ専門知識や倫理観を持って明確化できる
		2週	放送大学，単位互換協定締結校，他高専の専攻科等の授業内容に従う。	工学的な課題を論理的・合理的な方法かつ専門知識や倫理観を持って明確化できる
		3週	放送大学，単位互換協定締結校，他高専の専攻科等の授業内容に従う。	工学的な課題を論理的・合理的な方法かつ専門知識や倫理観を持って明確化できる
		4週	放送大学，単位互換協定締結校，他高専の専攻科等の授業内容に従う。	工学的な課題を論理的・合理的な方法かつ専門知識や倫理観を持って明確化できる
		5週	放送大学，単位互換協定締結校，他高専の専攻科等の授業内容に従う。	工学的な課題を論理的・合理的な方法かつ専門知識や倫理観を持って明確化できる
		6週	放送大学，単位互換協定締結校，他高専の専攻科等の授業内容に従う。	工学的な課題を論理的・合理的な方法かつ専門知識や倫理観を持って明確化できる
		7週	放送大学，単位互換協定締結校，他高専の専攻科等の授業内容に従う。	工学的な課題を論理的・合理的な方法かつ専門知識や倫理観を持って明確化できる
		8週	放送大学，単位互換協定締結校，他高専の専攻科等の授業内容に従う。	工学的な課題を論理的・合理的な方法かつ専門知識や倫理観を持って明確化できる
	4thQ	9週	放送大学，単位互換協定締結校，他高専の専攻科等の授業内容に従う。	工学的な課題を論理的・合理的な方法かつ専門知識や倫理観を持って明確化できる
		10週	放送大学，単位互換協定締結校，他高専の専攻科等の授業内容に従う。	工学的な課題を論理的・合理的な方法かつ専門知識や倫理観を持って明確化できる
		11週	放送大学，単位互換協定締結校，他高専の専攻科等の授業内容に従う。	工学的な課題を論理的・合理的な方法かつ専門知識や倫理観を持って明確化できる
		12週	放送大学，単位互換協定締結校，他高専の専攻科等の授業内容に従う。	工学的な課題を論理的・合理的な方法かつ専門知識や倫理観を持って明確化できる
		13週	放送大学，単位互換協定締結校，他高専の専攻科等の授業内容に従う。	工学的な課題を論理的・合理的な方法かつ専門知識や倫理観を持って明確化できる
		14週	放送大学，単位互換協定締結校，他高専の専攻科等の授業内容に従う。	工学的な課題を論理的・合理的な方法かつ専門知識や倫理観を持って明確化できる
		15週	放送大学，単位互換協定締結校，他高専の専攻科等の授業内容に従う。	工学的な課題を論理的・合理的な方法かつ専門知識や倫理観を持って明確化できる
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

分野横断的能力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。	5	後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	5	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	40	40
専門的能力	0	0	0	0	0	60	60
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0